

松戸市民児協だより

愛の小鳩

2024/8

No.66

[年2回発行]

編集と発行＝松戸市民生委員児童委員協議会

(松戸市役所福祉政策課地域福祉担当室 047-366-3019)

“絆”ふたたび

今号の内容

- 松戸市民児協令和6年度総会
- 第41回松戸市福祉大会
- 部会・連絡会紹介/児童部会
- 地区民児協活動紹介
「松戸・馬橋・矢切・東部」
- 民生委員の役割を深く知ろう!
風水害に備える/災害時の情報収集手段
- ひきこもりと8050問題について考えよう!
- バス1日研修に行ってきました!
- 編集後記

ゆいの花公園
撮影：川本和子

松戸市民生委員児童委員協議会

令和6年度総会

令和6年4月17日松戸市民劇場ホールにおいて、本郷谷松戸市長をはじめ多くのご来賓をお迎えして、松戸市民生委員児童委員協議会の令和6年度総会が開催されました。

平川会長の挨拶では、本年1月1日に起きた能登半島地震に関連して、災害時の民生委員としての向き合い方について話がありました。

また、令和6年度の活動方針は前年度に引き続き2つの大きな柱が採択されました。

1、民生委員・児童委員、主任児童委員活動の強化と推進

2、災害等に備えた民生委員・児童委員、主任児童委員活動の推進

令和5年度事業報告、収入支出決算ならびに監査報告、令和6年度事業計画(案)、収入支出予算(案)の4つの議案すべてが、審議・可決されました。(代議員188名中、出席者177名、委任状11名の182名)

最後に、民生委員の歌「花咲く郷土」を全員で歌って終了しました。

今年度の主な研修として、9月20日(金)中堅民生委員児童委員研修会10月3日(木)全体研修会が、いずれも森のホール21で予定されています。

なお、総会開催にあわせて6年以上の活動をされた10名の委員が功労を讃えられ、会長表彰されました。

おめでとーいございます



平川会長の挨拶

会長表彰者

原田 早苗	松戸
塚口 時子	松戸
鈴木 公一	明第二
深澤 孝子	馬橋
中嶋 弘行	馬橋西
叶 隆一	新松戸
釘宮 要輔	五香
鈴木 道代	小金南部
中山 ゆかり	小金南部
西村 隆一	小金原

松戸市民児協 理事会構成

(令和6年4月現在)

- 会長 平川茂光(明第三)
- 副会長 梶原栄治(東部)
- 副会長 小野順子(小金北部)
- 副会長 池端清子(六実)
- 会計 廣瀬昌知(常盤平団地)
- 会計 望月洋子(松戸)
- 書記 梅本みな子(明第二)
- 書記 星野進(高木)
- 理事 山内幸子(明第一)
- 理事 中村知(明第四)
- 理事 竹内恵子(矢切)
- 理事 吉野英典(馬橋)
- 理事 吉岡寛利(馬橋西)
- 理事 叶隆一(新松戸)
- 理事 上村佳子(常盤平)
- 理事 中村康子(五香)
- 理事 塩澤涼子(小金南部)
- 理事 山本健治(小金原)
- 理事 吉田順子(矢切)
- 理事 中村まえ子(小金北部)
- 監事
- 監事

昨年度の途中で、理事会の顔ぶれと役職が一部変わりました。

第41回松戸市福祉大会

令和6年2月4日松戸市民会館において「松戸市制施行80周年記念第41回松戸市福祉大会」が開催されました。

主催の松戸市社会福祉協議会は、昨年小川早苗氏が会長に就任されました。そして特別功労として、前会長の文入加代子氏が表彰されました。

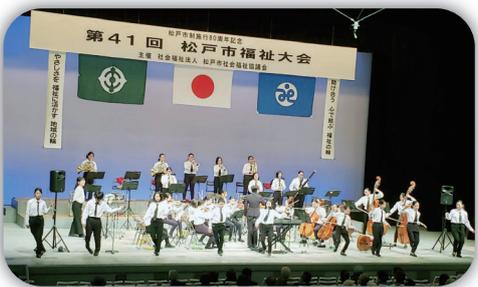
また多くの民生委員が、民生委員児童委員功労で表彰されました。

今回は4年ぶりに第2部が開催され、松戸市立第六中学校管弦楽部による演奏が披露されました。1、2学年35名(2月時点)の部員によるすばらしい演奏でした。



松戸市社会福祉協議会 小川早苗会長

プログラム後半では松戸市出身のシンガーソングライター坂本タクヤ氏とのコラボレーションもあり、楽しい時間を過ごしました。



市立第六中管弦楽部のすばらしい演奏

「地域の子どもたちの健全な成長を願い」

部会・連絡会紹介 児童部会



児童部会長
さこんじゅう
 左近 充 和子
 (小金原地区)

子どもを取り巻く環境・子どもの現状・子どもや子育て世代が抱える諸問題に対して、子どもを支援している関係機関の方々から、どんな支援をしているのかを学びます。子どもに関わる問題に対してどう向きあえばいいのか、どう活動すればよいかを考え、各地区での支援活動に活かされる取り組みを模索しています。

子どもたちが安心して過ごせる環境で健やかな成長ができることを願っています。

運営

年間隔月で6回程度の定例会をもち、任期3年間を見据えて事業を計画しています。子どもに関わる諸問題、多様な支援活動など、学びたいことを、4グループに分かれて話し合い、それぞれで企画した事業を順次開催しています。



子どものために熱く活動する児童部会



令和6年度1月 事業Ⅳ
 松戸キャラバン隊『たねっこ』

活動目標

講演会や施設見学研修会などの事業をとおして、知識・見識を深めます。地域の子どもの見守り活動や支援活動に役立て、支援できる機会につなぎ、必要な対応ができるようになりたいと考えています。

令和5年度は「松戸市の子どもへの支援の実態を知る」を年間テーマにしました。主に子どもに関する専門の講師を招き、支援の必要性について学びました。

令和6年度は、より一層見識を深めるための講演会・施設見学を計画したいと思います。

令和5年度 活動予定	
5月	R5年度事業計画・予算の決定
7月	事業Ⅰ 「児童虐待の対応について」
9月	事業Ⅱ ①学童保育概要・子どもを取り巻く環境・児童の現状、問題点 ②地域で私たちができること（小金原子ども食堂の実績を通して）
11月	事業Ⅲ 「まつどっ子未来のために今」松戸市教育委員会社会教育課
R6・1月	事業Ⅳ 松戸キャラバン隊『たねっこ』
R6・3月	R6年度事業計画・予算の検討
令和6年度 活動予定	
5月	R5年度活動報告・収支報告。R6年度の事業計画・予算の決定
7月	事業Ⅰ 出前講座「子どもの貧困について」
9月	事業Ⅱ 「子どもの居場所、子ども食堂から見える子どもの貧困について」
11月	事業Ⅲ 子山ホーム見学（児童養護施設：いすみ市）
R7・1月	事業Ⅳ 各地区の情報交換
R7・3月	R7年度事業計画・予算の検討

活動紹介

松戸地区民児協

会長名：望月 洋子 直近の委員数：37名
 キャッチフレーズ：「見守りを心でつなぐ福祉の輪」
 町会・自治会：2町会 13自治会 2管理組合
 小・中学校：市立小学校4校 市立中学校3校
 施設等：市民会館 市民劇場 男女共同参画センター
 市立図書館本館 本庁地区社協 キテミテマツド
 地区定例会：毎月第2水曜日 開始時間13：30

松戸地区は、松戸駅周辺から葛飾橋、国道6号線を渡って陣ヶ前までを37名の委員で担当しています。

今期は1期・2期目の委員が多いので、定例会では、研修会等のほかに、先輩委員の体験や助言をもとに日々の活動の参考にしていきます。

地区独自の取り組みとしては、年2回の一斉友愛訪問時に、80歳以上のおひとり暮らしの方にインスタントみそ汁やお茶菓子を持参しています。ささやかなプレゼントですが、皆さん楽しみにされているようです。

また、地区社協で開催している「ふれあい会食会」、「サロンだんらん」、「子育てサロン」や「本庁地区市民運動会」、地区内の小学校3校、中学校2校が参加する「ふれあい音楽祭」に協力することで、地域の方々と交流ができる良い機会になっています。



ふれあい会食会の様子



地区定例会の様子

これからも、それぞれの委員が地域や行政・地区社協と連携し、より良い活動を心がけていきたいと思います。

馬橋地区民児協

会長名：吉野 英典 直近の委員数：34名
 キャッチフレーズ：「馬橋地区 多くの愛で 見守る目」
 町会・自治会：21町会
 小・中学校：市立小学校6校 市立中学校2校
 高校：県立松戸高校
 施設等：馬橋東市民センター 萬満寺 テラスモール
 地区定例会：毎月第2土曜日 開始時間13：30

馬橋地区は、JR馬橋駅東側、北は幸谷、東は八ヶ崎、南は新作、中和倉を担当地区としています。萬満寺は鎌倉時代に建立されたお寺で、仁王様の両足の間をくぐる病難災害を防ぎ、丈夫になると伝えられています。

また、地区内をコミュニティバス「ゆめいろバス」が運行しており、住民の足として広く喜ばれています。

当民児協は、地域の実情を深く理解し、地区社協と連携して、さまざまな事業、問題に取り組んでいます。

高年齢者部では、ふれあい会食会を中心に活動をしています。が、秋には新たな事業を計画中です。ふだん「お変わりありませんか？」という何気ないひと言を大切にしています。安否確認、訪問先の皆さんにきつと心強い言葉になると思います。また、その声かけが防犯にもつながるのではないのでしょうか？ 安心して住みやすい町づくりのお役に立てるよう、委員全員が住民の笑顔を励みに、これからも活動していきたいと思



地区定例会



活発な発言に対応

地区民児協

矢切地区民児協

会長名：竹内 恵子 直近の委員数：25名
 キャッチフレーズ：「元気！ チーム矢切」
 町会・自治会：19町会
 小・中学校：市立小学校3校 市立中学校1校
 高校：県立矢切特別支援学校
 施設等：総合福祉会館 千葉県西部防災センター 松戸警察署
 柿ノ木台公園体育館 二十世紀が丘市民センター
 地区定例会：毎月第3木曜日 開始時間13：30

矢切地区は、松戸市の南西部に位置し、3分の1が矢切耕地、3分の2が宅地の江戸川と豊かな自然に囲まれた地域です。

今期から約半数が新しい委員となりました。今まで引き継がれてきた「地域を想う心」に新たな感性を取り入れながら日々活動に邁進しています。

個々の民生委員・児童委員の活動と並行して、地区社協とも連携をはかり、ふれあ

い広場での結婚50年事業への協力をはじめとして、さまざまな研修会にも参加しています。



地区での施設研修

また、当地区にある西部防災センターでの災害体験を年に1度行い、防災に対する意識を高めています。

さらには矢切地区でも、グリーンスローモビリティ(グリスロ)が令和6年4月に運行開始となりました。買い物、病院などへの送迎だけでなく、当地区にある総合福祉会館での各種催し物への参加利用につなげられるよう協力させていただいています。

「元気！ チーム矢切」を合言葉に、互いに協力し、地域の方々の心をひとつにつなげるお手伝いを心がけています。



地区定例会

東部地区民児協

会長名：梶原 栄治 直近の委員数：30名
 キャッチフレーズ：「困ったときにまず一言 そんな時のお手伝い一緒に力を合わせましょう！」
 町会・自治会：9町会 8自治会
 小・中学校：市立小学校6校 市立中学校3校
 高校：県立3校 市立1校 私立1校
 施設等：ひがまつテラス 東部市民センター 東部スポーツパーク
 地区定例会：毎月第2金曜日 開始時間13：30

東部地区はその名の通り松戸市の東部にあります。JR武蔵野線と北総線の交わる東松戸駅を中心に、近年大変多くのマンションが建設され、人口が増加しました。2017年には松戸市内では29年ぶりとなる小学校(東松戸小学校)の新設もあり、高齢化率では松戸市全体の25・9%に対して東部地区は21・3%と、とても若い地区となっています。

子どもたちの数が増え、2万2千世帯の約5万人が暮らす、松戸市内で最大規模の地区となっています。15歳から64歳までの生産年齢人口が3

万人を超えています。一方65歳以上の高齢者人口も新松戸地区と並び1万人を超える高齢者の多い地区となっています。子どもから高齢者まで、民生委員・児童委員として期待される役割はますます多岐にわたってきているのを感じます。これからも町会、自治会、地区社協などと連携して、地道に安心安全な地域づくりに貢献していきたいと思っています。

笑顔を中心掛け、地域に元気を届けます



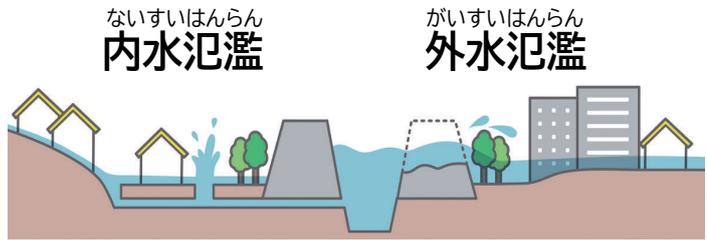
笑顔を中心掛け、地域に元気を届けます



和気あいあいと活動中

民生委員の役割を深く知ろう！

風水害に備える



よる浸水やアンダーパスの冠水などです。

○土砂災害

台風・線状降水帯の接近、長雨などの際は、崖地に近接している土砂災害警戒区域の住宅に避難指示が発令されます。

○避難行動

危険な状況になる前に早めに避難する

- * 状況確認のために外に出ない
- * 冠水時、徒歩避難の際には、マンションなどに落ちないように、傘の先などで足元を確認し、慎重に歩く

○避難所の開設と運営

* 事前情報の確認と早めの避難
令和元年の台風15号・19号の被災状況を踏まえ、松戸市では「風水害時の避難所開設方針」を定めています。基本は市民センター、市施設、小中高等学校。(ペット同行避難所も、和名ヶ谷スポーツセンター・グリーンセンター・小金原体育館に開設する)

地震と異なり風水害の場合はリードタイム(避難準備期間)があります。被害も数日で落ち着く見込みのため、市の担当職員2〜3名で対応

することが多いです。災害の規模により長引く場合は、避難者自身や地域の運営協力が必要となります。

民生委員として期待される行動は？

- ①風水害の恐れのある時は、災害の起こる前に、支援対象の方々への避難を呼びかける
- ②風水害の発生後は、民生委員が救助に向かうことはできない事前もってお知らせしておく

災害時の情報収集手段

- 1 防災行政無線・再確認したい場合は
☎0800-800-9366
- 2 NHKデータ放送
チャンネルをNHKに合わせる
リモコンの「ボタン」を押す
・地域の防災・生活情報を選択
松戸市からの情報
- 3 テレフォン・FAXサービス
登録方法は防災対策のHPを参照

松戸市公式

ホームページ

X(旧Twitter)

防災対策

安全安心メール

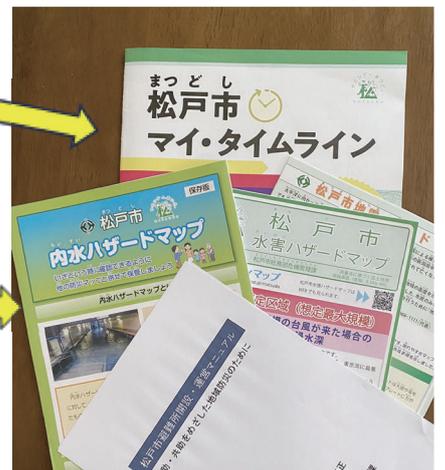
取材を終えて

日頃より支援対象の方々の関係を密にし、速やかに対応をすることが大切と痛感しました。

松戸市水害ハザードマップ、内水ハザードマップ、松戸市マイ・タイムラインなども活用しましょう！

松戸市マイ・タイムライン
＜総務部危機管理課＞

松戸市内水ハザードマップ
＜建設部下水道整備課＞
(マップ) (情報)



ひきこもりと8050問題について考えよう！

「ひきこもり」の定義

様々な要因の結果として、就学や就労、交遊などの社会的参加を避けて、原則的には6ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態のこと（他者と交わらない形での外出をしている場合も含む）

「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」より（厚労省）

（15～39歳）

★きっかけ

- ・不登校
- ・職場になじめなかった
- ・就職活動がうまくいかなかった
- ・人間関係がうまくいかなかった
- ・病気
- ・受験に失敗した
- ・大学になじめなかった

★ひきこもりの期間

- ・7年以上：34.7%

★関係機関に相談した経験

- ・ない：55.9%

（15-39歳）「若者の生活に関する調査報告書」（2016） （40-64歳）「生活状況に関する調査報告書」（2019） いずれも内閣府調査

（40～64歳）

★きっかけ

- ・退職したこと
- ・人間関係がうまくいかなかった
- ・病気
- ・職場になじめなかった
- ・就職活動がうまくいかなかった
- ・学生時代の不登校

★ひきこもりの期間

- ・7年以上：46.7%

★関係機関に相談した経験

- ・ない：55.6%

「ひきこもり」全国で146万人！

内閣府の2023年3月公表の調査結果による推計値で、子どもから中高年までの全世代の推計が明らかになるのは初めてのことです。15～64歳のうち約50人に1人がひきこもり状態に該当することになります。

（この結果には新型コロナウイルス流行の影響もあるとのこと）

*（厚労省）まず知ろう！
「ひきこもりNOW」！



*（厚労省）「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」



*松戸市ひきこもりに関する相談窓口



*ひきこもり応援ネット



*不登校親子応援ねっと



「ひきこもり応援ネット」とは？

松戸市の近隣でひきこもりの親の声かけで支援をしている団体のネットワークです。（参加団体の一部）

松戸市役所障害福祉課・就労準備支援室、松戸市社会福祉協議会、松戸市基幹相談支援センター、中核地域生活支援センター「ほっとねっと」・就労移行支援事業所、ひきこもりの親の会「よっといで！」、「不登校親子応援ねっと」、第二東京弁護士会、自立訓練事業所、まつど地域若者サポートステーション、不登校を考える東葛の会「ひだまり」、松戸・柏・流山の民間支援機関他

不登校に悩む親たちの願いから始まり、ひきこもり全般への支援を目的として2017年に立ち上げられました。関係者会議は隔月第3火曜日に開催して、情報や意見の交換を行っているそうです。悩みを聞いてもらうことで家族が元気になり、ご本人も元気になっていきます。状況に合わせた理解と対応が必要で、ご本人のエネルギーがたまってきた時に家庭外に居場所が見つかる、社会参加につながります。ボランティア活動などに参加し、声をかけられ、感謝されたりすることは、生きる自信を取り戻すきっかけになります。長い目で見守り寄り添うことが大切とのことでした。

「ひきこもり応援ネット」を立ち上げたひきこもりの親の会「よっといで！」の方のお話をうかがいました

▽ひきこもり問題の課題

- ① 親世代が介護状態になって初めてひきこもりの現状が明らかになる（80代の親が50代の子の生活を支える経済的・精神的な負担「8050問題」）
- ② 年齢にとられない継続的な支援の仕組みの必要性
- ③ 支援につながる人への対応
- ④ 必要な情報を必要な人に届ける
- ⑤ 社会の無知と偏見の解消

▽民生委員の皆さんへお願い

障害等を抱えていると思われる場合は公的機関を紹介してください。そうでない場合は、ご本人と家庭の意向がまずは優先です。ひきこもりは誰にも起こりうるという理解してください。本人や家族が孤立しないように、地域の一員として話を「傾聴」し、悩みを共有し、見守り、相談に乗っていただきたいとお話でした。

ひきこもり応援ネット 3つの目標

相談窓口の明記と周知

家庭外の居場所作り

各支援機関とのつながり

バス1日研修に行ってきました！



広報委員会では令和6年1月12日バス1日研修会を実施し、建設技術展示館、社会福祉法人陽光会、松戸市立第一中学校みらい分校を見学してきました。

1 建設技術展示館

松戸市五香にある国土交通省建設技術展示館は、最新の建設技術や取り組みを展示するとともに、バリアフリー体験コーナーで車椅子や白杖体験などができる「見て、触れて！知る(学べる)！」体験型施設です。展示館の概要説明と災害対応についての画像を拝見したあと、2班に分かれ、車両格納庫の見学とバリアフリー体験を行いました。

車両格納庫には災害対応の特殊車両があり、その特徴等の説明を受けました。これらの車両は主に関東地区の災害時に出勤する車両とのことです。1月の**能登半島地震**ではここからも13台派遣したとのことでした。車両には災害時に打ち合わせや泊まり込みができる対策本部車や待機支援車、排水ポンプ車、照明



令和6年能登半島地震災害義援金受付中
(松戸市福祉政策課地域福祉担当室)

車、また、橋梁点検用の特殊車両などもありました。バリアフリーの体験では、2人1組で車椅子と白杖を体験しました。車椅子では、わずかな段差でも乗り越えに苦労しました。また白杖を頼りに道を歩くと、まっすぐに歩こうとしても、少しの傾斜で車道側に寄ってしまう、補助役なしではとても不安でした。



2 社会福祉法人陽光会

社会福祉法人陽光会にはいろいろな高齢者向けの施設や事業があり、今回は旭町の複数の施設を見学させていただきました。

① 特別養護老人ホーム陽光苑

65歳以上で、要介護3以上の方が入所できます。希望があれば施設で看取りもできます。

② グループホームサンパティオ

要支援2、要介護5の認知症の方で共同生活を通して生きがいや楽しみを持ち、住み慣れた地域で生活します。

③ 小規模多機能型居宅介護サンパティオ
要支援1、要介護5の方で、通いと訪問、宿泊ができる制度です。ご本人の状況に合わせて、ご自宅での自立した生活を支えます。

④ ケアハウスサンシャイン

自立した生活が困難あるいは不安な60歳以上の方が、食事・掃除・洗濯などの支援を受けながら暮らします。介護認定要件はありません。個室で簡易キッチン設備があり、外出や買い物も自由に楽しめます。



高齢者ひとりひとりの状況やご本人の希望は多様です。ニーズに合わせた施設や事業について知り、大変勉強になりました。

3 松戸市立第一中学校みらい分校

入学は、春と秋の年2回。学び直しをしたい人や、中学校を卒業してない人のための公立夜間中学です。入学できる年齢は15歳を超えた方です。見学日時点在籍生徒は10代、50代と年齢は幅広く、10代の生徒が多いとのこと。学習内容は4つのコースがあり、面談を経て、個

々の学習能力に応じた授業が受けられます。し、外国ルーツの生徒のためもあるそうです。授業料は無料ですが、教材費や保険料などは必要です。学習時間は、午後5時20分から8時45分までです。始業前の訪問で、直接生徒の皆さんとお話できませんでした。紹介映像等とおして、学校生活の様子を知ることができました。



【訃報】

謹んでお悔み申し上げます

鈴木 博之様 享年68歳

令和6年2月5日(明第三地区)

中村 勲人様 享年72歳

令和6年5月25日(明第二地区)

編集後記

表紙の写真を撮りに「ゆいの花公園」に行きました。園内には新緑の美しさと季節の花が咲き誇り、青空がとても美しく、気持ちの良いひと時を過ごしました。(3班永田)

「愛の小鳩」66号

発行日 令和6年8月1日

発行責任者 松戸市民生委員児童委員協議会

平川 茂光